

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	南海福祉看護専門学校
設置者名	社会福祉法人 南海福祉事業会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数 又は授業時数	省令で定める基準単位数 又は授業時数	配置困難
福祉専門課程	児童福祉科	夜・通信	180	160	
	介護社会福祉科 (介護福祉士コース)	夜・通信	180	160	
	介護社会福祉科 (介護・社会福祉士コース)	夜・通信	180	160	
看護専門課程	看護学科	夜・通信	240	240	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページにて公表する。<http://www.nansen.ac.jp>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	南海福祉看護専門学校
設置者名	社会福祉法人 南海福祉事業会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会
役割	教育課程編成委員会と学校関係者評価委員会は外部委員と内部委員とで構成され、年に2回、委員会を開催している。 そこで討議した内容を学校運営委員会及び教務部会にて検討して各学科へ反映させている。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
大阪人間科学大学	2年	教育課程編成委員
兵庫大学	2年	教育課程編成委員
社会福祉法人 永寿福祉科	2年	教育課程編成委員
南海かもめ認定こども園	2年	教育課程編成委員
特別養護老人ホーム フィオーレ南海	2年	教育課程編成委員
(備考)		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	南海福祉看護専門学校
設置者名	社会福祉法人 南海福祉事業会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>各学科ともに規定に示されている教授内容を基に、テキストの選定をして自身の実務経験等を活かした授業内容を計画する。</p> <p>新規で担当する科目は、前年度のテキストとシラバスを参照して、規定の教授内容を基に作成されているかを確認する。その上で自身のシラバスを作成する。</p> <p>前年度と継続して担当する科目は、前年度の反省点や改善点を反映させて質を高めた内容にしていく。</p> <p>シラバスの作成時期は、1月から3月の期間に作成して4月1日にて本校ホームページにて公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	本校ホームページ http://www.nansen.ac.jp
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>全科目 5段階評価。</p> <p>5 (90～100点)、4 (80～89点)、3 (70～79点)、2 (60～69点)、1 (59点以下)として、期末試験の結果及び授業や提出物等の成果を総合して科目担当者が評価をする。</p> <p>その結果を学科会議にて正しく評価できているかを確認する。</p> <p>学年末には、学校長を中心に教員全員と事務長にて判定会議(履修認定)を行う。規定の出席率、学費完納の確認をし、5段階評価の2以上の評価があれば履修認定を行う。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績 5 段階評価をG P Aの客観的な指標の算出値。</p> <p>評価 5 → 4 評価 4 → 3 評価 3 → 2 評価 2 → 1 評価 1 → 0</p> <p>本校の教務システムにて、学生の成績評価をすべて入力し、上記指標の算出値を設定することにより、学生の成績結果が客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料となって表れる。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>本校ホームページ http://www.nansen.ac.jp</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定は、卒業年度の後期試験終了後、すべての科目の成績評価が出た後、学校長を中心に教員全員と事務長にて卒業判定会議（3月初旬）を行う。 出席率、学費完納の確認をし、5段階評価の2以上の評価があれば履修認定を行う。 その後、卒業に必要な単位又は単位時間を満たしていれば卒業を認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>本校ホームページ http://www.nansen.ac.jp</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	南海福祉看護専門学校
設置者名	社会福祉法人 南海福祉事業会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページ http://www.nansen.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	本校ホームページ http://www.nansen.ac.jp
財産目録	本校ホームページ http://www.nansen.ac.jp
事業報告書	本校ホームページ http://www.nansen.ac.jp
監事による監査報告（書）	本校ホームページ http://www.nansen.ac.jp

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		福祉専門課程	児童福祉科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1860時間	405時間	1140時間	270時間	45時間	
			1860時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		76人	0人	8人	15人	23人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
授業は、講義・演習・実技・実習で構成している。 （講義1単位15時間、演習1単位30時間、実技1単位45時間、実習1単位45時間） 年間の授業は、前期（15週）と後期（15週）の2期制とし、授業日は週5日（月～金）、1日4コマ（1コマ90分）の授業計画である。
成績評価の基準・方法
全科目5段階評価。5（90～100点）、4（80～89点）、3（70～79点）、2（60～69点）、1（59点以下）として、期末試験の結果及び授業や提出物等の成果を総合して科目担当者が評価をする。
卒業・進級の認定基準
年度末に卒業及び進級の判定会議を行い、所定単位の履修有無、必要時間の出席有無、納入すべき学費納入の有無を確認して、すべての条件を満たしていることで卒業及び進級の認定を行う。
学修支援等
クラス担任制をとっており、日々の学校生活に目を配っている。欠席が多くなったり、成績が良くなかったりした場合は、個別面談を行ったり、更には保護者と連携を取り、面談を行ったりする。 スクールカウンセラーも定期的に配置して心理的な相談もできるよう対応している。 学生が学習しやすい環境を提供できるよう、教職員全員が学生の変化等にご気づくよう心掛けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 (100%)	0人 (%)	33人 (%)	5人 (%)
(主な就職、業界等) 保育所及び幼保連携型認定こども園、児童福祉施設			
(就職指導内容) 早期に保育の現場を経験し、卒業後の目的意識を高める。 2年次7月に学内就職ガイダンスを実施して、いろいろな職種の事業所と面談して 就業のミスマッチを防ぐ。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格（国家資格）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
80人	7人	8.75%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談をすると共に、保護者への連携も密にしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		福祉専門課程	介護社会福祉科 (介護福祉士コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1926 単位時間	960 単位時間	510 単位時間	456 単位時間		
			1926 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		10人	8人	4人	13人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
授業は、講義・演習・実習で構成し、単位時間で表している。 年間の授業は、前期(15週)と後期(15週)の2期制とし、授業日は週5日（月～金）、 1日4コマ（1コマ90分）の授業計画である。
成績評価の基準・方法
全科目5段階評価。 5（90～100点）、4（80～89点）、3（70～79点）、2（60～69点）、1（59点以下） として、期末試験の結果及び授業や提出物等の成果を総合して科目担当者が評価を する。
卒業・進級の認定基準
年度末に卒業及び進級の判定会議を行い、所定単位時間の履修有無、必要時間の出席有 無、納入すべき学費納入の有無を確認して、すべての条件を満たしていることで卒業及 び進級の認定を行う。
学修支援等
クラス担任制をとっており、日々の学校生活に目を配っている。欠席が多くなったり、 成績が良くなかったりした場合は、個別面談を行ったり、更には保護者と連携を取り、 面談を行ったりする。 スクールカウンセラーも定期的に配置して心理的な相談もできるよう対応している。 学生が学習しやすい環境を提供できるよう、教職員全員が学生の変化等に気づくよう 心掛けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (%)	21人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者施設等			

<p>(就職指導内容)</p> <p>早期に介護の現場を経験し、卒業後の目的意識を高める。 2年次7月に学外就職ガイダンスに参加して、いろいろな職種の事業所と面談して就業のミスマッチを防ぐ。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>介護福祉士受験資格</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	5人	12.2%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任による個人面談をすると共に、保護者への連携も密にしている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		福祉専門課程	介護社会福祉科 (介護・社会福祉士コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2770 単位時間	1410 単位時間	720 単位時間	640 単位時間		
			2770 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
50人	37人	0人	4人 (介護福祉士コース の内数)	13人 (介護福祉士コース の内数)	17人 (介護福祉士 コースの内数)		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
授業は、講義・演習・実習で構成し、単位時間で表している。 年間の授業は、前期(15週)と後期(15週)の2期制とし、授業日は週5日（月～金）、1日4コマ（1コマ90分）の授業計画である。
成績評価の基準・方法
全科目5段階評価。 5（90～100点）、4（80～89点）、3（70～79点）、2（60～69点）、1（59点以下）として、期末試験の結果及び授業や提出物等の成果を総合して科目担当者が評価をする。
卒業・進級の認定基準
年度末に卒業及び進級の判定会議を行い、所定単位時間の履修有無、必要時間の出席有無、納入すべき学費納入の有無を確認して、すべての条件を満たしていることで卒業及び進級の認定を行う。
学修支援等
クラス担任制をとっており、日々の学校生活に目を配っている。欠席が多くなったり、成績が良くなかったりした場合は、個別面談を行ったり、更には保護者と連携を取り、面談を行ったりする。 スクールカウンセラーも定期的に配置して心理的な相談もできるよう対応している。 学生が学習しやすい環境を提供できるよう、教職員全員が学生の変化等気づくよう心掛けている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (%)	21人 (%)	0人 (%)

(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者施設等
(就職指導内容) 早期に介護の現場を経験し、卒業後の目的意識を高める。 2年次7月に学外就職ガイダンスに参加して、いろいろな職種の事業所と面談して 就業のミスマッチを防ぐ。
(主な学修成果(資格・検定等)) 介護福祉士受験資格、社会福祉士受験資格(卒業後実務経験2年要) 社会福祉主事任用資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	5人	12.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談をすると共に、保護者への連携も密にしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門課程	看護学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3015時間	1830 時間	150 時間	1035 時間	時間	時間
			3015時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		40人	0人	10人	38人	48人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>授業は、講義・実習で構成している。演習単独の科目はないが、講義授業の中で少し含めている。（講義1単位15時間、実習1単位45時間）</p> <p>年間の授業は、前期（15週）と後期（15週）の2期制とし、授業日は週5日（月～金）、1日4コマ（1コマ90分）の授業計画である。</p>
成績評価の基準・方法
<p>全科目5段階評価。</p> <p>5（90～100点）、4（80～89点）、3（70～79点）、2（60～69点）、1（59点以下）</p> <p>として、期末試験の結果及び授業や提出物等の成果を総合して科目担当者が評価をする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>年度末に卒業及び進級の判定会議を行い、所定単位の履修有無、必要時間の出席有無、納入すべき学費納入の有無を確認して、すべての条件を満たしていることで卒業及び進級の認定を行う。</p>
学修支援等
<p>クラス担任制をとっており、日々の学校生活に目を配っている。欠席が多くなったり、成績が良くなかったりした場合は、個別面談を行ったり、更には保護者と連携を取り、面談を行ったりする。</p> <p>スクールカウンセラーも定期的に配置して心理的な相談もできるよう対応している。</p> <p>学生が学習しやすい環境を提供できるよう、教職員全員が学生の変化等に気づくよう心掛けている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)

(主な就職、業界等) 病院
(就職指導内容) 早期に看護の現場を経験し、卒業後の目的意識を高める。 3年次7月に学外就職ガイダンスに参加して、いろいろな職種の事業所と面談をして 就業のミスマッチを防ぐ。
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師受験資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談をすると共に、保護者への連携も密にしている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
児童福祉科	230,000 円	565,000 円	335,000 円	
介護社会福祉科	230,000 円	575,000 円	375,000 円	
看護学科	400,000 円	595,000 円	395,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.nansen.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 企業・業界団体・学術機関の有識者等からなる学校関係者評価委員会が、各専攻分野における知見を活かして各学科の教育課程や進路指導等について評価し、その評価結果を教員会議や運営会議にて検討して学校長の決裁により次年度以降、教育活動及びその他の学校運営の改善に活かしていく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大阪人間科学大学	2年	学術機関の有識者
兵庫大学	2年	学術機関の有識者
社会福祉法人 永寿福社会	2年	企業役員
南海かもめ認定こども園	2年	企業役員
特別養護老人ホーム フィオーレ南海	2年	企業管理職
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.nansen.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.nansen.ac.jp
--